

2023 年 12 月 05 日（火）【外為 L a b】松田哲
タイトル：【R B A（豪州中銀）は、政策金利据え置き】

本日（2023 年 12 月 5 日）の R B A 理事会では、事前予想通りに、政策金利を 4.35% に据え置く、と決定した。

サプライズは無い。

+++++

R B A（豪州準備銀行、豪州中銀）の金融政策について、遡って述べます。

2021 年 11 月 2 日の R B A（豪州準備銀行）の金融政策決定会合では、政策金利を 0.1%（過去最低）に据え置く、と発表された。

そして、3 年国債の利回り目標によるイールド・カーブ・コントロール（Y C C、長短金利操作）を停止する、と発表された。

ただし、利上げの条件達成には、ある程度の時間がかかる可能性がある、とした。

+++++

2021 年 12 月 7 日、R B A（豪州準備銀行、オーストラリア中央銀行）の定例理事会が開催され、豪ドルの政策金利を 0.10% に据え置く、と発表された。

そして、以下の声明が発表された。

「2022 年 2 月中旬まで、週 40 億豪ドルの国債買い入れを継続する」

つまり、R B A（豪州準備銀行）は、量的緩和政策を、2022 年 2 月中旬まで維持する、と表明した。

別な言い方をするならば、オーストラリアでは、2022 年 2 月中旬まで、金融緩和政策が続く、ということ。

+++++

昨年 2 月（2022 年 2 月 1 日）の R B A 定例理事会では、事前の予想通りに、豪ドルの政策金利（オフィシャルキャッシュレート）を 0.10%に据え置く、と決定した。

そして、Q E（量的緩和策）の終了も決定した。

ただし、ロウ R B A 総裁は、

「Q E（量的緩和策）の終了は利上げを意味するものではない」と述べている。

ロウ R B A 総裁は、早期利上げ観測をけん制したが、この時点での市場（マーケット）では、早期の利上げを予想する傾向が強い。

++++
++++

昨年 3 月（2022 年 3 月 1 日）の R B A 理事会では、事前の予想通りに、政策金利を過去最低の 0.10%に据え置く、と決めた。

ロウ R B A 総裁は、

「ロシアによるウクライナ侵攻が世界経済の不確実性の要因となっている」と発言し、オーストラリアの消費者物価指数（C P I）が急上昇する可能性がある、とした。

ロウ R B A 総裁は、今後の利上げについて、

「インフレ率が持続的に 2～3%の範囲内に届くまで行わない」と、従来の主張を維持した。

++++
++++

昨年 4 月（2022 年 4 月 5 日）の R B A 理事会では、事前予想通りに、オフィシャル・キャッシュ・レート（＝政策金利）を 0.10%に据え置いた。

ただし、会合後に発表した声明文では、従来の文言を変更しています。

これは、R B A（豪州中銀）が利上げに向かう姿勢を示唆した、と考えます。

++++
++++

マーケット（外国為替市場）では、以前から、昨年（2022 年）の半ば以降に、R B A（豪州中銀）が利上げを行う、といった思惑が非常に強かった。

昨年 4 月（2022 年 4 月 5 日）の R B A 理事会の内容は、利上げの思惑を後押しする格好になった、と考えます。

+++++

昨年 5 月（2022 年 5 月 3 日）の R B A 理事会で、オフィシャル・キャッシュ・レート（＝政策金利）を 0.25% 引き上げ、0.35% にする、と決定した。

事前予想では、「0.15% 引き上げて、政策金利を 0.25% にする」であった。

事前予想よりも、0.10% 引き上げ幅が大きかったことは、ちょっとしたサプライズであった。

+++++

昨年 6 月（2022 年 6 月 7 日）の R B A 理事会（豪中銀の政策決定会合）では、オフィシャル・キャッシュ・レート（豪ドルの政策金利）を、0.5 ポイント引き上げ、0.85% にする、と決定した。

事前の予想では、大半が 0.5 ポイントよりも小幅な利上げを想定しており、予想外の大幅な利上げであった。

そして、インフレを抑制するために必要な措置をとる、と表明した。

+++++

昨年 7 月初旬（2022 年 7 月 5 日）、オーストラリアの中央銀行である R B A（Reserve Bank of Australia）は、政策決定会合で、豪ドルの政策金利であるオフィシャル・キャッシュ・レートの誘導目標を 0.5 ポイント引き上げ 1.35% にする、と決定した。

この豪ドルの政策金利引き上げは、マーケット（外国為替市場）の事前予想通りで、サプライズは無かった。

+++++

昨年 8 月の初め（2022 年 8 月 2 日）、R B A は、政策金利を 0.5 ポイント引き上げ 1.85% にする、と決定した。

この決定は、事前予想通りであり、サプライズは無かった。

+++++

昨年 9 月（2022 年 9 月 6 日）の R B A 理事会（オーストラリア中銀の会合）で、キャッシュ・レート（豪ドルの政策金利）の目標値を 50 ベーシスポイント引き上げて、2.35% にする、と決定した。

0.50% の政策金利引き上げは、事前の予想通りで、サプライズは無かった。

+++++

ただし、R B A（豪中銀）が、自国の高インフレに対抗するためには、今後も継続して、政策金利を引き上げる必要がある、と考えます。

つまり、これまでの利上げでは、十分ではなく、利上げ幅は足りていない、と考えます。

R B A は、引き続き、利上げのスタンスを崩さない、と考えます。

+++++

昨年 10 月（2022 年 10 月 4 日）の R B A 理事会では、政策金利の 0.25% 引き上げを決定した。

0.50% の利上げを事前に予想する向きも多かったもので、想定よりも小幅な利上げだった。

+++++

R B A（オーストラリア準備銀行＝豪州中銀）は、昨年 11 月（2022 年 11 月 1 日）の R B A 理事会で、政策金利を 0.25% 引き上げる、と決定した。

オーストラリアの政策金利は、2.60%から、0.25%引き上げられて、2.85%になる。

この 0.25%の利上げは、マーケット（外国為替市場）の事前予想通り。

サプライズは無い。

+++++

昨年 10 月（2022 年 10 月 4 日）の R B A 理事会では、0.25%の利上げを予想する向きと、0.50%の利上げを予想する向きが、半々程度であった。

そして、その結果は、0.25%であった。

つまり、大幅な利上げを、一度に敢行するのではなく、小幅な利上げをステップ・バイ・ステップに（=少しずつ、順次に）、実施するスタンスを示した、と考えます。

だから、昨年 11 月（2022 年 11 月 1 日）の R B A 理事会の利上げの予想が、0.25%に集約されたのだ、と考えます。

+++++

ただし、昨年 11 月（2022 年 11 月 1 日）の 0.25%の利上げでも、オーストラリアのインフレを鎮静化するには不十分である、と考えます。

R B A も、そのことは十分に承知の上で、小幅な利上げを段階的に実施している訳で、R B A は、「今後さらなる利上げを見込む」と述べています。

つまり、オーストラリアの利上げは、まだまだ続く、と考えます。

+++++

+++++

R B A（オーストラリア準備銀行＝豪州中銀）は、昨年 12 月（2022 年 12 月 6 日）の R B A 理事会で、政策金利を 0.25%引き上げる、と決定した。

オーストラリアの政策金利は、2.85%から、0.25%引き上げられて、3.10%になった。

この 0.25%の利上げは、マーケット（外国為替市場）の事前予想通り。

サプライズは無い。

RBAの利上げは8会合連続。

2022年6月から9月の4会合連続で、0.50%の大幅な利上げを実施したが、10月、11月、12月の会合では、0.25%の利上げを決定した。

利上げのペースは減速しているが、豪ドルの政策金利が、インフレに対抗し得る水準に達したと判断するには時期尚早。

引き続き、RBAが利上げを継続する、ただし、その利上げのペースは減速している、と判断するのが妥当。

++++
++++

RBA（オーストラリア準備銀行＝豪州中銀）は、今年2月（2023年2月7日）のRBA理事会で、政策金利を0.25%引き上げる、と決定した。

オーストラリアの政策金利は、3.10%から、0.25%引き上げられて、3.35%になった。

この0.25%の利上げは、マーケット（外国為替市場）の事前予想通り。

サプライズは無い。

++++
++++

今年3月（2023年3月7日）のRBA理事会で、オーストラリア準備銀行（豪中央銀行：RBA）は、政策金利のオフィシャルキャッシュレートを25ベーシスポイント引き上げて、3.60%とすることを発表した。

この利上げは、事前の予想通りで、サプライズは無い。

++++
++++

今年4月（2023年4月4日）のRBA理事会で、RBA（豪州中銀）は、オフィシャルキ

キャッシュレート（豪ドルの政策金利）を 3.6%に据え置く、と決定した。

今年 4 月（2023 年 4 月 4 日）の政策金利据え置きは、マーケット（外国為替市場）の大勢の事前予想通りであるが、一部では、大幅な利上げを予想する向きもあった。

++++
++++

今年 5 月（2023 年 5 月 2 日）の R B A 理事会で、R B A（オーストラリア準備銀行、豪中銀）は、政策金利のオフィシャルキャッシュレートを 0.25%引き上げ、3.85%にすることを決めた。

市場の事前予想は、政策金利の据え置きであったので、大きなサプライズとなった。

++++

R B A は、2022 年 5 月以降、10 会合連続で利上げを続けて、引き上げ幅は 3.5%に達していたが、今年 4 月（2023 年 4 月）の会合では、政策金利を 3.6%に据え置いた。

それで、今年 5 月（2023 年 5 月 2 日）の R B A 理事会でも据え置きが予想されていた。

予想外の R B A の利上げであった。

++++
++++

今年 6 月（2023 年 6 月 6 日）、R B A（オーストラリア準備銀行、豪州中銀）は、政策金利のオフィシャルキャッシュレートを 0.25%引き上げる、と決定した。

豪ドルの政策金利は、3.85%から、0.25%引き上げられて、4.10%になった。

マーケット（市場）の事前予想では、据え置きが多かったが、利上げの可能性を予想する向きもあり、「ビッグ・サプライズ」とは言えないが、少し「サプライズ」だった、と言える。

++++
++++

今年 7 月（2023 年 7 月 4 日）の R B A 理事会では、政策金利の据え置きを決定した。

事前予想通りであった。

+++++

今年 8 月（2023 年 8 月 1 日）の R B A 理事会では、事前予想通りに、7 月に続き、政策金利を 4.10%に据え置く、と決定した。

2 会合連続の政策金利据え置きであり、利上げサイクルが終了に近づきつつある、と判断できる。

ただし、R B A は、声明で、
「インフレ率を目標に確実に戻すには、追加の引き締めの可能性はある」とした。

将来の利上げ再開に、引き続き、含みを残した。

+++++

今年 9 月（2023 年 9 月 6 日）の R B A 理事会では、事前予想通りに、政策金利を 4.10%に据え置く、と決定した。

据え置きは、3 カ月連続。

+++++

今年 10 月（2023 年 10 月 3 日）の R B A 理事会では、事前予想通りに、政策金利を 4.10%に据え置く、と決定した。

据え置きは、4 カ月連続。

ただし、追加利上げの可能性も残した。

+++++

先月（2023 年 11 月 7 日）の R B A 理事会では、大方の事前予想通りに、政策金利を 0.25%

引き上げた。

利上げは 5 会合ぶりで、政策金利（オフィシャル・キャッシュレート）は、4.10%から 4.35% になった。

さらなる利上げの必要性はデータ次第として、その姿勢は弱くなった。

そのため、この（2023 年 11 月 7 日）の利上げが最後とする思惑が広がった。

+++++

そして、今回のこのコラムの文頭に戻ります。

本日（2023 年 12 月 5 日）の R B A 理事会では、事前予想通りに、政策金利を 4.35%に据え置く、と決定した。

サプライズは無い。

+++++

（2023 年 12 月 05 日東京時間 14：45 記述）